

ふれる感じる考えるこども図書館

～ 絵本と出会い多様な在り方にふれる ～



学校法人 福島学院
福島学院大学認定こども園

こども図書館の概要

蔵書数約1400冊



誰もが知る名作・絵本作家さんの最新刊・大型絵本・原書や点字絵本まで網羅し、とても充実した空間となっています。

表紙からも伝わる絵本の魅力



子どもたちの興味・関心に直接訴えかける配架で、子どもたち自らが何を読むか選択(自己決定)することができます。

理念と目的

1

生涯にわたる人格形成の基礎

～豊かな感性と心、知的好奇心を育む～

2

教育及び保育の充実

～日常的に様々な絵本に出会い読み親しむ機会～

3

地域子育て支援の拠点

～親子で絵本とふれあえる場・開かれたこども図書館の提供～

4

実感を伴った学びの場提供

～園児への読み聞かせ・体験を伴う活動の実施～

利用実績

こども図書館の認知度も向上し、在園児以外の地域の方々も利用してくださっています。

前年度利用のべ人数

2,267人



前年度総貸出冊数

4,534冊

月間利用数最高記録

518人

福島市特色ある幼児教育・保育プロジェクト継続事業

体験から深まる多様性の理解

英語教室講師による英語での絵本読み聞かせ



福島学院大学短期大学部保育学科学生による読み聞かせ



体験活動（ゲストスピーカー・ワークショップ）



多様性の理解や共生社会の素地を育む体験

こども図書館の絵本を読むだけでなく、関連した体験活動を子どもたち自らが体験することで改めて「絵本のすばらしさ」を実感し、多様性の理解や共生社会の素地の育成につながります。

絵本から広がる活動

園外保育・製作活動・作品展



絵本との出会い

たくさんの絵本が待つことも図書館では、お気に入りの絵本がたくさん見つかります。



作品展

絵本を題材にして各クラス、子どもたちが豊かな発想の中で製作した作品が園内のホールに所狭しと並びます。「もしもこうだったらおもしろい」という視点が追加されているクラスなど、個性が光る展示となっています。



製作活動

絵本の場面を思い返したり、自分なりに試してみたり、友達と協力したりと活動の幅がどんどん広がっています。

身体表現活動や劇遊びに発展

作品展示後は自分たちで製作したものが劇遊びや表現遊びの大道具・小道具になって表現が深まっています。

～各学年ごとに表現豊かな発表会～



令和8年度事業内容

① 日々の読書や読み聞かせによる絵本に親しむ機会拡充

- ー 教育・保育時間での利用時間の工夫と多様な絵本の蔵書増加に努める ー

② 絵本を通し豊かな感性や身体表現力の基礎育成

- ー 絵本から発想を広げた作品展・発表会の取り組み継続 ー

③ 障害や様々な文化について実感を伴う活動の実施

- ー ゲストスピーカー招聘イベント・子どもたちに寄り添う絵本読み聞かせの実施 ー

④ 地域子育て支援拠点、他学校・施設との連携

- ー 地域交流・子育て支援イベント・学生による読み聞かせの機会充実等積極的な活動継続 ー

こども図書館利用者の声

昨年度末のアンケートで多くの声が寄せられました。一部ご紹介します！



～全年齢が絵本に触れられる～

こども図書館の絵本は表紙が見えるように並んでいるため、文字が読めない子でも絵を見て選ぶことが出来るので、とても良いと思います。

～図書館に行くことが楽しみ～

こども図書館に行くたびに、絵本の配置が少し変わっていて新鮮な気持ちになります。また、季節に合わせた工夫があるため、季節感が感じられやすく大人も楽しめます。

～立ち寄り易い図書館～

こども園のお迎えに行った帰りに気軽に立ち寄れるのがとても良いです。施設が清潔で開放感があり居心地が良いので、年間かなりの回数を利用していると思います。



～借りた本を読み聞かせに～

こども図書館で借りた絵本を利用して、寝る前の読み聞かせが習慣化しました。親子で共通の話題ができ、スキンシップ（抱っこしながら）の貴重な時間となっています。



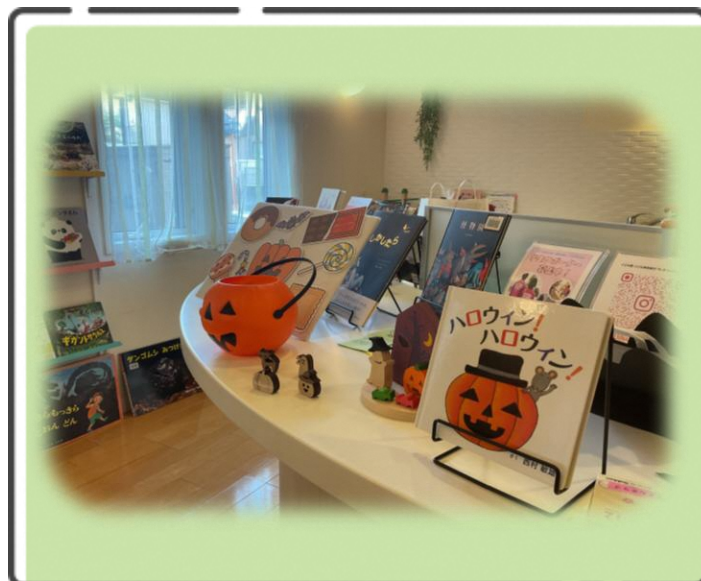
～成長を実感できる～

子どもとの何気ない会話の中で、知っている言葉が増え、絵本の中に出てきた表現等で気持ちを言い表すことが出来るようになったと思います。成長を実感しています。

～文字や言葉の獲得～

絵本を自分で読めるようになりました。先生の真似をして、家族に読み聞かせをしてくれるようになり、こども図書館で絵本を借りた日の夕食後が家族みんなのお楽しみの時間になりました。





～絵本と出会い多様な在り方にふれる～



学校法人福島学院 福島学院大学認定こども園

